

安曇野屋敷林フォーラム2019

～安曇野のふるさと遺産を引き継ぐために～

安曇野の先人たちが自宅の周りに植え、育て、使ってきた屋敷林。この保全是、安曇野の歴史・文化のみならず市民のプライドの継承につながるものです。しかし、一方で生活様式の変化に伴い、屋敷林に対する価値観やその姿が変わりつつあります。このようななかで、歴史や文化を伝える資源をまとまりとして受け継ぎ、地域づくりに活かす流れが全国的に生まれてきています。

今回は、その事例を長野県立歴史館の笹本館長からご紹介いただくとともに、市内でのこうした取り組みの実態と今後に向けての対応を考えていく機会を設けました。

2019年2月16日(土) 穂高交流学習センターみらい 参加無料

■ フォーラム

第1部 13:30～15:10

基調講演「ふるさととの文化的景観

～飯山市小菅地区を事例に」

講師 笹本正治氏



<講師略歴>

1951年山梨県生まれ
1974年信州大学人文学部卒業
1977年名古屋大学大学院文学
研究科修士課程前期修了
現在、長野県立歴史館館長

「安曇野ふるさと遺産2019」認定式&概要説明

第2部 15:20～17:00

パネルディスカッション 「ふるさと遺産を引き継ぐために」

コーディネーター：宮崎崇徳氏（プロジェクト副リーダー）

アドバイザー：笹本正治氏（長野県立歴史館館長）

パネリスト：小岩原哲夫氏（まちなかにぎわいプロジェクト）

宝喜吉氏（潮沢ロマンの会）

原明芳氏（豊科郷土博物館）

場々洋介氏（プロジェクトリーダー）

■ パネル展 2019年2月8日(金)～16日(土) 展示ギャラリー



主催：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

共催：NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団・安曇野まちなかカレッジ実行委員会

後援：長野県・安曇野市・松本地域景観協議会・松本地域景観育成サポーター運営会議・

安曇野環境市民ネットワーク・（一社）長野県建築士会・信濃毎日新聞社・市民タイムス

問合せ：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト事務局

安曇野市商工観光部観光交流促進課 Tel.0263-71-2053 URL:keikan-azumino.net

安曇野の屋敷林

安曇野の屋敷林は雄大な北アルプスを背景に、田園風景となじみこの地域特有の景観を形成しています。特に5月の水鏡に映る景色は安曇野そのものです。富山県の砺波平野の屋敷林と違い、集落を形成しながらつながり神社などの森と一体化しているのも特徴です。それは安曇野の歴史的まちなみをも構成しています。

屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林を目的をもってつくりました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。たとえば北西方向には北アルプスからの冷たい風を防ぐため常緑の杉・ヒノキで防風林を造りました。また女の子が生まれると嫁入りのため桐の木を植える習慣がありタンスにしたものでした。ケヤキは落葉のため比較的南東に植えました。時には建材、燃料でもあり、柿・梅は食料としても植えられました。また人のためだけでなく、鳥や昆虫の生活の場でもあります。緑はCO2を吸収し地球温暖化防止にも貢献しています。安曇野の屋敷林は樹種の種類が多いのも特徴です。安曇野は扇状地のため水が地下にしみ込み農業のために多くの堰が造られました。水は人の生活のため不可欠であり、水の豊かさは屋敷林にも大きな影響を与えています。安曇野の屋敷林は先人の美意識と機能の象徴であり数百年を掛けてつくられた時代の証人でもあります。

しかし現在ではその本来の機能は技術進歩や生活の変化により必要とはされず、落ち葉の処理・日照・維持費などを考えると時代の変化にともない切れ消え去る危機も秘めています。これまで私たちは安曇野市の旧5町村を中心に特に屋敷林の残っている場所の調査を進めてきました。緑にあふれたすばらしい環境を維持することの大変さとこの地域の風景・景観として大きな貢献を屋敷林が背負っていることに気づきます。屋敷林を安曇野の財産として今後残し保全していくためには、市民意識の向上や資金面での助成や保全の仕組みが必要だと思います。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。

活動の経過

- 2003年10月 高見沢松本地方事務所長のよびかけで松本平の屋敷林調査スタート
- 2004年 4月 松本地方事務所管内で屋敷林登録制度が開始
- 2008年 5月 安曇野ブランドデザイン会議内に「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」設立
- 2009年 1月 砺波の屋敷林研修
- 2009年11月 第1回全国屋敷林サミット IN 安曇野(通算①)
- 2010年10月 全国散居村サミット IN 砺波 参加
- 2011年 3月 「安曇野の屋敷林」 発刊
- 2011年10月 散居村サミット IN 奥州 参加
- 2011年10月 安曇野屋敷林フォーラム 2011(通算②) 屋敷林サポーター募集開始
- 2011年10月 「安曇野の屋敷林」地域発元気づくり支援金松本地方事務所長表彰
- 2012年10月 砺波市の屋敷林研修
- 2013年 3月 安曇野屋敷林フォーラム 2013(通算③)「屋敷林と民家」
- 2013年11月 落葉ひろいボランティア 松岡宅
- 2014年 2月 安曇野屋敷林フォーラム 2014(通算④)「身近にできる緑化」
- 2015年 3月 安曇野屋敷林フォーラム 2015(通算⑤)「安曇野・砺波・武蔵野から発信する屋敷林の未来」
- 2015年11月 武蔵野市の屋敷林研修
- 2015年11月 落葉ひろいボランティア 中沢宅
- 2016年 3月 安曇野屋敷林フォーラム 2016(通算⑥)「武蔵野 都市緑化への思い」
- 2016年 9月 砺波市の屋敷林研修
- 2016年11月 落葉ひろいボランティア 曾根原家住宅
- 2017年 3月 安曇野屋敷林フォーラム 2017(通算⑦)「緑の基本計画を広げるために」
- 2018年 3月 安曇野屋敷林フォーラム 2018(通算⑧)「民家と屋敷林を活かしたまちづくり」
- 2018年11月 落葉ひろいボランティア 大庄屋山口家
- 2019年 2月 安曇野屋敷林フォーラム 2019(通算⑨)「安曇野のふるさと遺産を引き継ぐために」